

# 国連憲章に違反するロシア軍はウクライナより撤退を 禁止条約を力に、日本政府に禁止条約の署名・批准を 2022年原水爆禁止国民平和大行進 5月14日(土)和歌山市集會に80人以上参加



和歌山庁舎前集會  
茂野和廣 県平和行進実行委員長

坂口たみ子議員連帯挨拶

ウォルテワジマ前国民平和大行進



けやき通り国民平和平和大行進

5月14日(土)雨が上がり曇り。国民平和大行進は、和歌山市内です。  
市庁舎前では和歌祭りの準備。その中で出発集會です。和歌山市原水協・事務局が進行します。冒頭「和歌山市は9自治体目。3年振りの平和行進、庁舎前集會に160人以上が参加している」と報告があります(去年は54人)。和歌山市実行委員会の島宏幸さんが開会の挨拶。そして、和歌山県平和行進実行委員会茂野和宏実行委員長が主催者挨拶をおこない「ロシアはウクライナから直ちに撤退せよ」と要求しました。また、「『敵基地攻撃能力』の検討や『核共有』の国内で動きなど『力には力』『核には核』の主張はプーチンと同である」と批判しました。坂口たみ子和歌山市議会議員は、和歌山市の平和行政の拡充を要求していきますと連帯挨拶。わかやま市民生協から北山周治さんが決意表明。市民生協は、集會に20人以上参加していました。最後に、民医労中嶋一雄さんの集會アピールを読み上げで閉會です。  
平和行進の隊列は、宣伝カーと横断幕を先頭に、市役所前よりけやき通りを東進し、ぼうず丁交差点を左折し、ぶらくり丁の中を走ります。「77年前の8月6日、8月9日、広島と長崎に落とされたたった一発ずつの原子爆弾で二つの町は一瞬で焼け野原となり、その年のうちに21万人もの命が奪われました。いまの核兵器の威力は、広島・長崎の原爆とは比べものになりません。絶対に使わせてはなりません」とハンドマイクでアナウンスします。宣伝カーの運行は、わかやま市民生協労働組合の阿波委員長でした。 本日5月15日の平和行進は有田市です。 県原水協事務局